

第54期

株主通信

2019年4月1日～2020年3月31日

NSW

Humanware By Systemware

日本システムウェア株式会社

証券コード：9739

Top Message

ごあいさつ

株主の皆さまへ

株主の皆さまには、平素から格別のご配慮を賜り、厚くお礼申し上げます。

第54期（2019年4月1日から2020年3月31日まで）の業績についてご報告申し上げます。

当連結会計年度におけるわが国経済は、米中貿易摩擦などの通商環境の変化の経済活動への打撃に加え、新型コロナウイルス感染拡大で、先行きの不透明感が懸念される状況となりました。

一方、情報サービス産業界におきましては、企業のデジタルトランスフォーメーションや働き方改革推進への取組みが本格化し、IT投資は堅調に推移しました。

このような状況の下、当社グループは、当連結会計年度より「DX FIRST」をスローガンに新たな中期経営計画（2019年4月～2022年3月）をスタートさせ、当社が得意とする「製品のIoT化」による新たなマーケットの深耕や、RealWearを活用したサービス拡充など、DX事業の拡大に取り組んでまいりました。

当連結会計年度の業績につきましては、受注高は385億44百万円（前年同期比4.9%増）、売上高は382億73百万円（同6.0%増）、営業利益は38億60百万円（同15.1%増）、経常利益は38億98百万円（同14.4%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は26億68百万円（同16.7%増）となり、8期連続増収増益を達成いたしました。

第55期につきましては、新型コロナウイルスの影響の長期化により、企業のIT投資が慎重になることが想定され、当社の事業活動および経営成績の見通しが難しい状況にあります。このため、次期の業績予想は未定としておりますが、ニューノーマル時代に向け、お客様のデジタル変革実現を先導する企業として成長と変革を加速してまいります。

株主の皆さまにおかれましては、今後とも一層のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2020年6月



代表取締役執行役員社長
多田 尚二

Business Segment Overview

連結部門別事業の概況

ITソリューション

35.1%

売上高につきましては、小売業向けシステム機器販売、官公庁・団体向けインフラ構築案件などが伸長し増収となりました。利益につきましては、増収に伴う利益増や一部大型案件の収益性改善などがあったものの、複数の不採算案件の発生により減益となりました。これらの結果、受注高は131億98百万円（前年同期比3.9%増）、売上高は134億15百万円（同6.8%増）、営業利益は12億5百万円（同1.8%減）となりました。

サービスソリューション

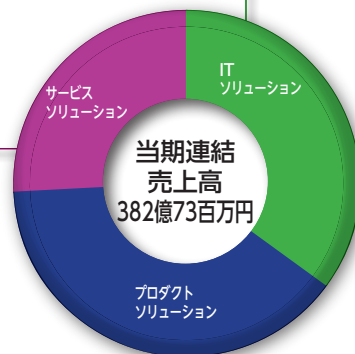
25.7%

売上高につきましては、デジタルソリューション、クラウド・インフラサービスともに拡大し増収となりました。利益につきましては、増収に伴う利益増に加え、より付加価値の高いサービス提供型ビジネスの伸長により収益性が改善し増益となりました。これらの結果、受注高は100億33百万円（前年同期比10.6%増）、売上高は98億53百万円（同7.0%増）、営業利益は6億30百万円（同114.3%増）となりました。

プロダクトソリューション

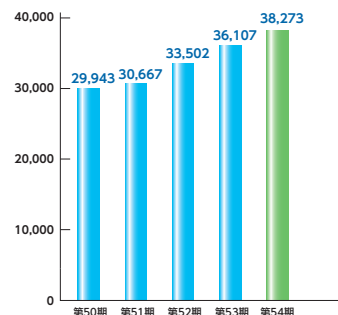
39.2%

売上高につきましては、組込み開発における設備・通信機器分野やデバイス開発の拡大により増収となりました。利益につきましては、増収に伴う利益増、デバイス開発における一部案件の収益性向上などにより増益となりました。これらの結果、受注高は153億12百万円（前年同期比2.4%増）、売上高は150億4百万円（同4.6%増）、営業利益は20億23百万円（同10.5%増）となりました。



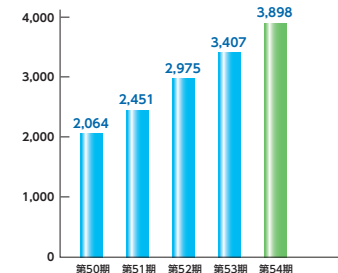
売上高

(単位：百万円)



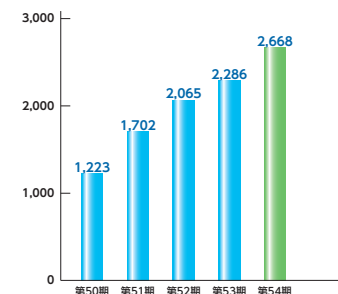
経常利益

(単位：百万円)



親会社株主に帰属する 当期純利益

(単位：百万円)



Financial Statements

連結財務諸表

■ 連結貸借対照表(要約)

(単位:百万円)

| 科目 | 当期末 2020年3月31日現在 | 前期末 2019年3月31日現在 |
|--------------------|---------------------|---------------------|
| [資産の部] | | |
| 流動資産 | 21,815 | 19,395 |
| 現金及び預金 | 11,488 | 8,410 |
| 受取手形及び売掛金 | 8,844 | 9,409 |
| 電子記録債権 | 94 | 239 |
| 商品 | 226 | 349 |
| 仕掛品 | 837 | 748 |
| 貯蔵品 | 2 | 3 |
| その他 | 321 | 234 |
| 固定資産 | 8,701 | 8,816 |
| 有形固定資産 | 6,241 | 6,407 |
| 無形固定資産 | 117 | 135 |
| 投資その他の資産 | 2,341 | 2,273 |
| 資産合計 | 30,516 | 28,211 |
| [負債の部] | | |
| 流動負債 | 6,789 | 6,779 |
| 固定負債 | 2,354 | 2,235 |
| 負債合計 | 9,144 | 9,015 |
| [純資産の部] | | |
| 株主資本 | 21,372 | 19,188 |
| 資本金 | 5,500 | 5,500 |
| 資本剰余金 | 86 | 86 |
| 利益剰余金 | 15,786 | 13,602 |
| 自己株式 | △0 | △0 |
| その他の包括利益累計額 | 0 | 7 |
| 純資産合計 | 21,372 | 19,196 |
| 負債及び純資産合計 | 30,516 | 28,211 |

■ 連結損益計算書(要約)

(単位:百万円)

| 科目 | 当期 2019年4月1日から 2020年3月31日まで | 前期 2018年4月1日から 2019年3月31日まで |
|------------------------|-----------------------------------|-----------------------------------|
| 売上高 | 38,273 | 36,107 |
| 売上原価 | 30,987 | 29,519 |
| 売上総利益 | 7,285 | 6,587 |
| 販売費及び一般管理費 | 3,425 | 3,233 |
| 営業利益 | 3,860 | 3,354 |
| 営業外収益 | 43 | 54 |
| 営業外費用 | 5 | 2 |
| 経常利益 | 3,898 | 3,407 |
| 特別利益 | 1 | 0 |
| 特別損失 | 26 | 8 |
| 税金等調整前当期純利益 | 3,873 | 3,398 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 1,233 | 1,258 |
| 過年度法人税等 | — | 11 |
| 法人税等調整額 | △28 | △157 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | 2,668 | 2,286 |

POINT

● 総資産

総資産は、305億16百万円となり、前連結会計年度末比23億5百万円の増加となりました。これは主に、受取手形及び売掛金ならびに電子記録債権の減少(7億10百万円)、有形固定資産の減少(1億65百万円)があったものの、現金及び預金の増加(30億77百万円)があったことによるものであります。

● 総負債

総負債は、91億44百万円となり、前連結会計年度末比1億28百万円の増加となりました。これは主に、賞与引当金の減少(2億45百万円)及び未払法人税等の減少(2億20百万円)があったものの、工事損失引当金の増加(2億21百万円)、買掛金の増加(1億81百万円)、及び未払消費税等の増加(1億53百万円)があったことによるものであります。

● 純資産

純資産は、213億72百万円となり、前連結会計年度末比21億76百万円の増加となりました。自己資本比率は、前連結会計年度末と比べ2.0ポイント増加し、70.0%となりました。

■ 連結キャッシュ・フロー計算書 (要約)

(単位:百万円)

| 科 目 | 当 期 | 前 期 |
|----------------------|-----------------------------|-----------------------------|
| | 2019年4月1日から 2020年3月31日まで | 2018年4月1日から 2019年3月31日まで |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 3,887 | 2,657 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △306 | △424 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △492 | △419 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | △2 | △5 |
| 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少) | 3,085 | 1,808 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 8,402 | 6,593 |
| 現金及び現金同等物の期末残高 | 11,488 | 8,402 |

POINT

● 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果得られた資金は、38億87百万円(前年同期比12億29百万円の収入の増加)となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益38億73百万円に対し、賞与引当金の減少額2億45百万円、工事損失引当金の増加額2億21百万円、売上債権の減少額7億14百万円、及び減価償却費4億75百万円があったことに加え、法人税等の支払額14億40百万円があったことによるものであります。

● 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果使用した資金は、3億6百万円(前年同期比1億17百万円の支出の減少)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出1億91百万円、及び敷金及び保証金の差入による支出28百万円によるものであります。

● 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果使用した資金は、4億92百万円(前年同期比73百万円の支出の増加)となりました。これは主に、配当金の支払額4億83百万円によるものであります。

■ 連結株主資本等変動計算書

(2019年4月1日から2020年3月31日まで)

(単位:百万円)

| | 株 主 資 本 | | | | | その他の包括利益累計額 | | | | 純資産合計 |
|--------------------------|---------|-------|--------|------|--------|------------------|--------------|------------------|-------------------|--------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | 利益剰余金 | 自己株式 | 株主資本合計 | その他有価証券 評価差額金 | 為替換算 調整勘定 | 退職給付に係る 調整累計額 | その他の包括 利益累計額合計 | |
| 当期首残高 | 5,500 | 86 | 13,602 | △0 | 19,188 | 3 | 12 | △7 | 7 | 19,196 |
| 当期変動額 | | | | | | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | △484 | | △484 | | | | | △484 |
| 親会社株主に帰属する 当期純利益 | | | 2,668 | | 2,668 | | | | | 2,668 |
| 自己株式の取得 | | | | △0 | △0 | | | | | △0 |
| 株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額) | | | | | | 0 | △2 | △4 | △6 | △6 |
| 当期変動額合計 | — | — | 2,183 | △0 | 2,183 | 0 | △2 | △4 | △6 | 2,176 |
| 当期末残高 | 5,500 | 86 | 15,786 | △0 | 21,372 | 3 | 9 | △12 | 0 | 21,372 |

中期経営計画 重点施策「DX FIRST」への取り組み

・産業用スマートグラス「RealWear」の提供開始

当社は、RealWear, Inc. (本社：米国)と販売代理店契約を締結し、産業用スマートグラス「RealWear」の提供を開始しました。RealWearは、音声認識による100%ハンズフリーの操作を実現し、建設・工事現場など、危険を伴う場所での作業や両手が離せない作業に適しています。また、直近では、当社データセンターの付加サービスとして、現地対応が困難なお客様向けに、常駐スタッフがRealWearを装着し、実機操作や作業を代行する遠隔支援などにも活用が広がっております。新型コロナウイルス感染症対策をはじめ災害発生時の移動制限やテレワークの増加などを背景に、このような需要はますます拡大するものと見込まれます。お客様ニーズに応じたサービス提供を積極的に推進してまいります。



RealWearを装着しリアルタイムでお客様作業を代行

・「建築検査学コンソーシアム」を設立

当社は、株式会社建築検査学研究所及びdo株式会社と共同で「建築検査学コンソーシアム」を設立しました。従来の建築検査・調査は担当者の知見や経験値に依存することが多く、いわゆる暗黙知やノウハウの承継が課題とされています。本コンソーシアムはより多くの企業へ正しい検査・調査の知識や手法を広く普及させることを目的としており、当社はドローンやDeep Learning といわれるAIなど先進技術を用いて、建築物の外壁の浮き・ひび割れなどを判定するAIエンジンの作成やクラウドシステムの構築などでこの活動を推進しています。

ドローンで建物の画像を撮影



AIでひび割れ画像を解析、建物と損傷箇所を3D表示



当社が開発したAIひび割れ判定システム「CrackVision」を活用

スポンサーシップ活動

今シーズン、当社は女子プロゴルファーの三ヶ島かな選手、江澤亜弥選手とスポンサー契約を締結しました。

当社は、スポンサーとして両選手の挑戦を応援するとともに、引き続きブランド価値の向上に努めてまいります。



みかしま
三ヶ島かな選手

えざわあや
江澤亜弥選手

Corporate data

会社情報

会社の概況

(2020年3月31日現在)

| | |
|-------------|--|
| 商号 | 日本システムウェア株式会社 |
| 設立 | 1966年(昭和41年)8月3日 |
| 本社 | 東京都渋谷区桜丘町31番11号 |
| 資本金 | 55億円 |
| 代表取締役 | 執行役員社長 多田 尚二 |
| 従業員数 | 2,218名(連結) |
| 取引銀行 | 株式会社三菱UFJ銀行 株式会社みずほ銀行 株式会社三井住友銀行 三井住友信託銀行株式会社 株式会社山梨中央銀行 |
| 主たる 関係会社 | NSWテクノサービス株式会社 京石刻恩信息技术(北京)有限公司(NSW China Co.,Ltd.) NSWウィズ株式会社 日本ソフトウェアエンジニアリング株式会社 |
| 事業拠点 | 渋谷 山梨 名古屋 大阪 広島 福岡 北九州 台湾 |

役員構成

(2020年6月25日現在)

| | | | |
|---------------|--------|---------|-------|
| 代表取締役 執行役員社長 | 多田 尚二 | 執行役員 常務 | 山田 武史 |
| 取締役 執行役員 常務 | 阿部 徳之 | 執行役員 常務 | 小山 文雄 |
| 取締役 執行役員 常務 | 須賀 譲 | 執行役員 常務 | 市川 照明 |
| 取締役 執行役員 | 竹村 大助 | 執行役員 常務 | 山口 真吾 |
| 取締役 監査等委員 | 衛藤 純二 | 執行役員 | 西田 隆二 |
| 取締役 監査等委員(社外) | 小谷野 幹雄 | 執行役員 | 岡部 晴美 |
| 取締役 監査等委員(社外) | 増井 正行 | 執行役員 | 大島 幸司 |
| 取締役 監査等委員(社外) | 石井 尚子 | 執行役員 | 上野 伸二 |
| 執行役員 副社長 | 大田 亨 | 執行役員 | 森口 毅 |
| 執行役員 専務 | 小関 誠一 | 執行役員 | 長正 聡 |

株式の状況

(2020年3月31日現在)

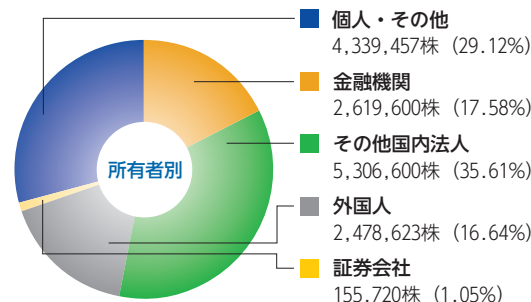
| | |
|----------|-------------|
| 発行可能株式総数 | 45,000,000株 |
| 発行済株式の総数 | 14,900,000株 |
| 株主数 | 3,325名 |

大株主(上位10名)

| 株主名 | 持株数(千株) | 持株比率(%) |
|---|---------|---------|
| 株式会社・コーポレーション | 5,000 | 33.55 |
| 多田 修人 | 1,537 | 10.31 |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行(信託口) | 1,326 | 8.89 |
| BNP PARIBAS SECURITIES SERVICES LUXEMBOURG/ JASDEC/FIM/LUXEMBOURG FUNDS/UCITS ASSETS | 720 | 4.83 |
| 日本マスタートラスト信託銀行(信託口) | 512 | 3.43 |
| 多田 尚二 | 315 | 2.11 |
| 多田 直樹 | 300 | 2.01 |
| 日本電気(株) | 294 | 1.97 |
| MSIP CLIENT SECURITIES | 202 | 1.35 |
| 日本システムウェア従業員持株会 | 180 | 1.21 |

※ 持株比率は自己株式(395株)を控除して計算しております。

株式分布状況(株式数構成比)



株主メモ

| | |
|-----------------|---|
| 事業年度 | 毎年4月1日から翌年3月31日まで |
| 定時株主総会 | 毎年6月下旬 |
| 基準日 | 定時株主総会・期末配当 毎年3月31日 中間配当 毎年9月30日 |
| 公告掲載URL | https://www.nsw.co.jp/ir/koukoku.html (ただし、電子公告によることができない事故、 その他のやむを得ない事由が生じた時には、 日本経済新聞に公告いたします。) |
| 株主名簿管理人 | 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 |
| 特別口座の 口座管理機関 | 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 |
| 郵便物送付先 | 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 |
| (電話照会先) | 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル) 取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の 本店および全国各支店で行なっております。 |

ホームページのご案内



当社ホームページでは、最新情報、業績情報などを掲載しているほか、アナリスト向け決算説明会の資料など、当社をご理解いただくための情報提供の充実に努めております。また、CSRへの取り組みについてもご案内をしていますので、どうぞご覧ください。当社は、今後も株主の皆さまへの積極的な情報発信に努めてまいります。

住所変更、単元未満株式の買取等の お申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

未払配当金の支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

「配当金計算書」について

配当金お支払いの際にご送付しております「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行なう際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。ただし、株式数比例配分方式をご選択いただいている株主様につきましては、源泉徴収税額の計算は証券会社等にて行なわれます。確定申告を行なう際の添付資料につきましては、お取引の証券会社にご確認をお願いいたします。



当社は個人情報管理の社内の仕組みの構築、実施、維持改善活動を行ない、個人情報を正確かつ安全に取り扱うことにより、社会の信頼に応えてまいります。



2007年より、当社は「両立支援（従業員の子育て支援）に積極的に取り組む企業」として、厚生労働大臣より、次世代育成支援対策推進法に基づく認定を継続して受けております。

[ホームページ] <https://www.nsw.co.jp/>

